同世代の記事追い
審査員特別賞受賞

昭和学院高1年松岡真央さん

新聞スクラップコン

第20回全国新聞スクラップコンクール（全国新聞教育研究協議会、朝日新聞社、朝日学生新聞社主催、文部科学省後援）の高校生の部で、昭和学院高校1年の松岡真央さん(16)が、審査員特別賞を受賞した。

松岡さんが選んだテーマは「同じぐらいの年齢の人の記事」。「自分の身の回りで起きるかもしれない」と、目を向けた。

少年少女が加害者、被害者の事件、学校での熱中症対策、原発事故による避難……。夏休みの1カ月間、10代や幼い子どもに関わる記事を追い、分からない語句を調べ、意見や感想を添えた。

スクラップ帳を開く松岡真央さん＝市川市東菅野2丁目、昭和学院高校

夕刊の記事では、父親を殺され、嘆き悲しむパレスチナの少年の写真に衝撃を受けた。「お父さんをかえして」と見出しがついていた。「子どもが泣いているのに誰もあやまらず、平和にならないのがおかしい。しっかり考えていかないといけない」とつづった。

地域面では、いじめを題材にした高校演劇の記事などを取り上げた。「自分自身にそんなにできることはないけれど、いじめなどを絶対にしないようにいつも思っている」と話す。

隅から隅まで紙面を読み込んだという。「これからも新聞を通して、今まで考えていなかったことを新たに考えたり、社会について知りたい」

同校は、社会科の課題で1年生のほとんどが新聞スクラップに取り組み、学校賞を受賞した。

このほか、小学生の部では、市川市立塩焼小学校4年の村脇さちさんが審査員特別賞、同市立冨貴島小学校が学校賞に選ばれた。中学生の部では、千葉日本大第一中学校3年の田丸友芽さんが文部科学大臣賞を受賞した。

『朝日新聞』2014年3月15日付朝刊第2千葉版